

# 春の全国 火災予防運動

2月29日  
～3月13日

## 二月、午前三時……

### 火災による死者をなくそう

二月二十九日から三月十六日まで「春の全国火災予防運動」が行われます。

二月、三月は空気が乾燥し、強い風が吹くことが多く、加えて暖房器具などの火気使用などもあつて、一年のうちでも火災が最も多い時期です。

昭和五十八年版消防白書によると、昭和五十七年中に発生した火災は、全国で六万五千六百八十八件。火災による死者を火災の種類別にみると、建物火災によるものが全体の七割近くを占めています。そのなかでも木造住

宅での死者が最も多く、階層別では一階での死者が約七割を占めます。このほか、死者を出した火災には次のような特徴がみられます。

#### 火事は

#### ここが怖い

〔午前三時〕時間帯では、深夜から早朝にかけての時間に死者が多くなっています。特に多いのが午前三時台。熟睡しているからでしょうが、家庭では簡易型火災警報器を取り付

けるなどして、寝ている間の出火も感知できるようにしたいものです。

〔お年寄りや子供〕放火自殺者を除く死者のうち、五二・七％は高齢者、乳幼児、病人や体の不自由な人です。お年寄りや子供などの避難場所や避難経路を日ごろから考えておきましょう。



## 「スギ花粉症の予防と治療」

小泉一弘氏

(古河日光総合病院院長)

が講演

スギ花粉症の研究で知られている古河日光総合病院の小泉一弘院長を講師に招き、今月二十九日午後二時から、総合会館大

会議室で、「スギ花粉症の予防と治療」と題して、市民健康講座を開きます。

スギ花粉症は、スギの花粉によるアレルギーが原因で起こる病気で、三月から五月にかけて

多く発生し、クシャミ、鼻水などの鼻炎症状や、目のかゆみ、発熱などの結膜炎症状が起ります。

毎年、スギの花粉症でお悩みの方はもちろん、一人でも多くの方がこの講座を受講し、正しい予防と治療法を身につけてください。受講料は無料で、申し込みもありません。

## 山火事は人災だ！ 大切な緑を山火事から守ろう

山火事は、3～4月ごろの春先に多く発生します。これは枯葉が地上に積もり、下草も枯れている上、空気が乾燥し季節風が吹くなど、この季節に山火事が起こりやすい条件が重なっているためです。

最近「森林浴」「バード・ウォッチング」など、山に安らぎや憩いを求める気運が高まっています。

大切な「緑」を灰にしないためにも、山で働く人や行楽で山へ行く人は、火の取扱いに十分注意してください。



林野火災原因のトップは、「たき火」です。

小さなたき火で大きな火災を起こすことがあります。

たき火をするときは、場所、時間、燃やす物・量などを必ず消防署に届出をしてから実施するようにしましょう。

届をしないで行いますと、火災と間違えて消防車が出動することがあります。

### たき火をするときは消防署に届出を